



小笠原村立小笠原中学校 学校だより

令和4年9月1日 第5号

小笠原村立小笠原中学校

校長 椎橋 秀行

学校ホームページ

<https://www.ogachu.ogasawara.ed.jp>



学校フェイスブック

<https://www.facebook.com/ogasawara.jhs>



コロナ禍での三度目の夏休み

校長 椎橋 秀行

新型コロナウイルス感染症の新規感染者数がなかなか少なくなりません。一時よりピークを越えた感もありますが、今年は、村内でも多くの陽性者が出ています。

本校でも、7月9日に大会参加のために出島した女子バレーボール部が、残念ながら辞退を余儀なくされました。その直後に、出島したサッカー部・バドミントン部は、急遽予定を変更し、保護者の協力を得て、大会に参加することができました。

私も、中断していた治療や出張の関係で、約2週間内地に行きました。家族以外との飲食はしない、密になる空間は避けるなど、十分に気を付けていたつもりでした。それでも、おがさわら丸の乗船時のPCR検査は、結果が出るまで不安でした。昨年に引き続き、懐かしい先輩方や仲間・友人と会食もできず残念でした。

ただ、今回は迷った末の決断でしたが、妻と義母を小笠原に連れてきました。義母は80を過ぎていますが、以前山登りが好きだったので、母島の乳房山に登りました。コロナ禍の影響で、登山の回数が減ったことと、暑さから苦労はしましたが何とか登りきることができました。父島に戻ってきてからも、シュノーケリングや戦跡めぐりなどをしました。強風のため南島には行かれませんでした。多くの感動と思い出、さらにお世話になった方への感謝とともに帰っていきました。

8月15日、小笠原諸島戦没者追悼式典に参加しました。硫黄島訪島に向けて学習したことや、現在のロシアによるウクライナ侵攻を踏まえて、改めて追悼の思いと平和の大切さを考えさせられました。

昨年は、8月16日に村の緊急事態宣言が発出し、早々に9月6日までの臨時休業や入村規制などが決まりました。今年は、重症化のリスクが低いからか行動制限もなく、予定通り8月30日に2学期の始業式を迎えました。2学期は、最も長い学期で、連合運動会をはじめ、1年生の母島移動教室、2年生は生徒会や部活動の中心に、さらに3年生はいよいよ進路に向けての大詰めの時期を迎えます。感染症対策などを十分に行い、教育活動を極力止めずに、無事に終業式を迎えたいと思います。

また、1学期に行われた遠泳大会において、ある保護者から実施判断や安全面などでのご意見をいただきました。私も初めての遠泳大会であり、課題と考えていたありがたいご意見でした。今後も、学校の様々な教育活動について、校長あてでも話しやすい職員あてにでも、多くのご意見を頂戴できればと思います。

遠泳大会

保健体育担当 柴山 暁人

7月10日(日)に遠泳大会が実施されました。目標として「1時間かけて1kmを全員で泳ぎ切る」ことを掲げ、プールでの水泳の授業や海練習を行って準備をしてきました。当日の天候は、風と波が強く、多くの方のサポートをいただきました。

スタートしてから目標ブイまで風や波の影響もあり、なかなか距離が縮まらない中でも、バディや近くで泳いでいる生徒同士で励まし合っていました。泳ぎが苦手な生徒は、自分の力を最大限に発揮しながら、周りの声かけにも反応し精一杯泳ぎ切りました。泳ぎが得意な人は、周りの様子を気にしながら常に苦手な人に対して、一生懸命にサポートをしながら泳ぎ切りました。新型コロナウイルス感染症の影響で人と人の距離を保つように言われる状況で、どこかで心理的にも距離をとってしまいがちです。しかし、この遠泳大会では、泳いだ生徒はもちろん見学の生徒も自分が今できることに力を注ぎ、一生懸命にこの行事を成功させようとする意志がひしひしと伝わってきました。これは生徒の皆さんが日頃の学校生活で、培ってきている力だと思います。その



頑張りもあり、参加した全生徒が怪我もなく泳ぎ切ることができました。疲れた中でも充実感や達成感を得ることができ、賞状を手に分の頑張りを実感できたと思います。

ご多用の中、今年度の遠泳大会にご協力いただきました皆様のお陰で生徒は泳ぎ切ることができ、達成感を味わうことができましたと思います。この場を借りて改めてお礼申し上げます。本当にありがとうございました。



社会科 租税教室

社会科担当 矢代 祥大

7月1日(金)の2校時に、租税教室が行われました。今年も税理士の天野裕代先生に、お話ししていただきました。税理士はどんな仕事か(名前は出せないけど有名な人の納税のお手伝いもする話)、生徒たちは興味津々)、父島の商店で実際に買い物した時のレシートを見ながら税を払っていることを確認したり、学校の机が約4万円近くかかっていることを教えてもらったりしました。3年生の多くは3年後には有権者となります。自分の大切なお金をいくら税として納め、その税が何に使われているのか、どう使っていくことが社会にとって良い選択なのか、じっくり考えることが大切です。



セーフティ教室

生活指導主任 矢代 祥大

7月14日(木)に小笠原警察署から3名の署員の方にご来校いただき、セーフティ教室を行いました。村内の感染症の状況を踏まえて、対策のため急遽オンラインでの開催となりましたが、丁寧にお話ししていただき、薬物の危険性などについて学ぶことができました。近年、10代の薬物使用が増えているそうです。また、海外旅行時に「この荷物を持っていて」と言われ、知らずに知らずに密輸に巻き込まれるケースもあるそうです。薬物の危険性は身近に潜んでいます。はっきりと断ることが大切です。



第1学年 働く人の話を聞く会

第1学年担当 小島 尚子

7月15日(金)4校時に働く人に話を聞く会があり、日本航空の織田直行さんから社会人としての心構えや、パイロットの仕事内容についてご講話いただきました。織田さんの「夢を諦めない」、「自分だけ良ければいいという考えをやめる」という言葉が生徒に響いたようで、「織田さんに教えてもらった心構えを大切にする」「飛行機に乗るときは感謝の気持ちを忘れない」などといった感想があり、自分の将来を考えるとても貴重な時間となりました。



バレーボール部 遠征報告

「限界突破～声と笑顔を決やさずに～」

バレーボール部顧問 小林 政輝 高部 みなみ

「島嶼大会優勝」を目標に日々の練習に励んできたバレーボール部は、7月9日(土)～18日(月)の日程で内地遠征を行いました。大会前は、母島中学校との合同練習、北区立桐ヶ丘中学校・十条富士見中学校との練習試合を行い、とても良い刺激をもらいました。

しかしながら、今年は新型コロナウイルス感染症の影響で、島嶼大会に出場することはできませんでした。今回の遠征を通じて、生徒たちは、大会に出場できなかったことを後ろ向きに捉えるのではなく、「当たり前なことなんてひとつも無いこと」「バレーボールを通じて自分を成長させること」の意味を深く考え、沢山の人の感謝するとともに、心を大きく成長させることができていたように思います。

応援してくださった方々に、このような結果をご報告することはとても残念ですが、この経験を踏まえ、心も技術もさらにレベルアップして、皆様に恩返ししていきたいと思えます。

最後に、日々の練習でご協力いただいた卒業生や地域の方々、お忙しい中オンラインで励ましのメッセージをくださった三枝さん、内地で練習にご協力いただきました北区立桐ヶ丘中学校、十条富士見中学校、小笠原村立母島中学校、そして、遠征の最後まで沢山の協力いただきました保護者の皆様、この場を借りてお礼申し上げます。今後とも協力よろしくお願ひいたします。



サッカー部 遠征報告

サッカー部顧問 柴山 暁人 宮本 寛信

サッカー部は、「島嶼大会優勝」を目標に練習に励んできました。新型コロナウイルス感染症の影響で、なかなか思うように練習や試合ができないこともありましたが、しかし、多くの方にご協力いただき、練習や練習試合を確保することができました。大会前にも感染が増えつつある中で思うような練習ができず、また大会出場するために個人練習でコンディションを整えながら当日を迎える状況となりました。しかし、選手はこのような状況にも前を向き「いま、自分に何ができるかを考え、行動してくれた」ように感じます。まさに、サッカー選手が求められる力である、自分で考え行動することをピッチ外で体現してくれたと思います。残念ながら決勝で敗退し都大会出場は逃してしまいましたが、これからの人生を力強く歩んでいくための力をつけてくれたと思います。1・2年生は、先輩たちの輝かし実績と悔しさを胸に、父島のいつでもサッカーができる素敵な環境に感謝しつつ、力強く突き進んでほしいと思います。力強いご支援、応援のほどありがとうございました。今後ともよろしくお願ひいたします。



バドミントン部 遠征報告

バドミントン部顧問 野内 由紀子 高田 奈々

7月26日(火)に葛飾区水元総合スポーツセンターにて都大会の個人戦が行われ、男子ダブルス、女子ダブルスに出場しました。感染症対策による遠征の日程変更で、他校との合同練習を行うことはできませんでしたが、ブロックの代表として都大会に出場できることへ感謝の気持ちを持ち、最後まで諦めずに試合に取り組む姿に3年間の成長を感じました。

今回の遠征にご協力、応援いただきました保護者、地域の皆様、本当にありがとうございました。今後ともよろしくお願ひ致します。



テニス部 遠征報告

テニス部顧問 多久 優麗花 野田 さくら

8月22日(月)・23日(火)に大田区立雪谷中学校にて東京都中学校硬式テニス選手権第1ブロック(新

人)大会が行われました。小笠原中学校からは男子ダブルス、男子シングルスにエントリーをしましたが、感染症対策によりシングルスのみ出場を果たすことができました。初めての公式戦に加え、普段慣れている奥村グラウンドのハードタイプのテニスコートとは違い、クレータイプの砂グラウンドで苦戦したものの3ゲームを奪い取る接戦を繰り返すことができました。この大会を通して、普段恵まれた環境で練習ができていたことに気付くとともに、ラリーが続けられることの楽しさを改めて感じることができました。

今回の遠征に伴い保護者の皆様には、日程変更等ご対応いただきましてありがとうございました。



9月の行事予定

- 1日(木) 避難訓練 SC勤務
役員会・各種委員会・中央委員会
- 2日(金) 食育講話 海洋センターボランティア
- 3日(土) 授業日(午前授業)
- 4日(日) ニュース時事能力検定
- 5日(月) 生徒会朝礼
「いのちの授業」事前学習
- 6日(火) 母島移動教室(1年)始
- 7日(水) 芝生の日
- 8日(木) 母島移動教室(1年)終
- 10日(土) 授業日(午前授業) 「いのちの授業」
PTA学年レク(2年)
- 12日(月) 学校朝礼
島しょ研修会1日目
※1・3年は昼食なし4校時まで
2年は昼食あり5校時まで
- 13日(火) 島しょ研修会2日目
「いのちの授業」事後学習
- 14日(水) 校内研修
部活動停止(21日まで)
- 15日(木) SC勤務
- 16日(金) 連合運動会合同職員会議
- 19日(月) 敬老の日
- 21日(水) 中間考査
- 22日(木) 連合運動会合同練習 SC勤務
校内研修
- 23日(金) 秋分の日 授業日(6時間授業)
お弁当の日
- 24日(土) PTAブイ・フロート撤去
- 26日(月) 学校朝礼 生徒会役員選挙
SC勤務
- 27日(火) 連合運動会予行練習
- 28日(水) 役員会・各種委員会
- 29日(木) 振替休業日
- 30日(金) 中央委員会
- 1日(土) 都民の日 授業日(6時間授業)
運動会準備
- 2日(日) 小中高連合運動会
- 3日(月) 振替休業日
- 4日(火) 振替休業日

服務事故防止月間(前期) 体罰根絶宣言

東京都教育委員会では7月5日(火)から8月31日(水)を「服務事故防止月間(前期)」とし、本校においても、全教職員を対象に改めて服務事故防止の校内研修を実施しました。

「生徒の人権・人格・個性を尊重すること」をスローガンに、今後も子ども一人一人の人権を大切にしたい、体罰によらない対話による教育活動を全教職員が一丸となって推進していきます。



ありがとうございました

7月10日(日)に実施しました遠泳大会では、保護者の皆様や地域の皆様から、当日の天候や海況、実施判断について、ご心配やご意見をお寄せいただきました。また、1学期末から夏休みにかけて実施しました部活動の内地遠征では、保護者の皆様から新型コロナウイルス感染症への対策や現地での対応に、多大なるご協力やご支援をいただきました。改めて感謝申し上げます。

今後も、生徒にとって安心安全な学校生活や充実した学習活動を通して、確かな学力・豊かな心・健やかな体を育ててまいります。お気づきの点やご不明な点等ございましたら、恐れ入りますが学校までお声をお寄せいただければと思います。今後ともどうぞよろしくお願いいたします。